

緑の担い手

日々を楽しむ

—山に対する畏敬
向上と貢献—

(有)佐川運送

金澤和也



私は、林業に従事して今年で一七年目になります。

夏の暑さや、冬の寒さなど気象条件に左右される厳しい面もありますが、自然の息吹を肌で感じながらの仕事は、何物にも変えがたいものがあります。

毎朝七時に事務所に出勤し、全員で朝のミーティングを行い、一日の安全を確認し、各班ごとに現場に赴きます。作業班には、二〇代、三〇

代の仲間がいて、それぞれが切磋琢磨できる環境にあります。作業に従事するうえで必要な、機械運転の資格を取得しながら現在に至っています。高度な技術を身に着けることにより、自分自身のスキルアップにも繋がると思います。平成二十四年度はフォレストマネージャーの講習を受講しました。また、林業技士「林業機械」部門にも挑戦し、取得することができました。

働きながら、いろいろなことに挑戦できる環境も気に入っています。林業で生活をしている私達は、山に対して畏敬の念を忘れてはいけなと思っています。そのことを念頭におきながら、毎日林業と向き合っています。

高性能林業機械が導入されたことにより、若者の林業従事者が増えた事は確実です。私もその中の一人であることは、間違いありません。現在、リーダーとしての責任もありますが、この仕事にやりがいを感じています。

これからは、一七年間で経験した作業の方法や技術を、新たに林業に従事する仲間に伝え、一緒に向上できるようにと思っています。